



レジオネラ肺炎患者のレントゲン写真

梅雨期に多い肺炎 レジオネラ症にご注意!

感染症発生動向速報

(令和2年第24週分・6月8日～6月14日)

《インフォメーション》

●レジオネラ症

過去5年間における県内のレジオネラ症の報告数は、36～54人で推移しており、今年は今現在までに12人報告されています。患者の年齢・性別には偏りがあり、県内では50歳以上の男性が患者全体の7割以上を占めています(図参照)。過去5年間の富山県の人口10万人あたりの患者報告数は、全国で1位～2位と高い水準で推移しています。

レジオネラ症はレジオネラ属菌による感染症であり、主に人工的な環境水(空調システムの冷却塔水や循環式浴用施設の浴用水等)で増殖したレジオネラ属菌で汚染されたエアロゾルを吸入することで発症する肺炎としてみられることが多いです。また、レジオネラ属菌は土壌や水環境に存在するため、レジオネラ属菌に汚染された環境水や粉塵を吸入することによっても感染する場合があります。しかしながら、レジオネラ属菌はヒトからヒトへ感染することはありません。患者は1年を通して報告されますが、梅雨期の7月を中心に増加する傾向があります。レジオネラ症の主な病型として、重症の肺炎を引き起こすレジオネラ肺炎と一過性の症状を呈するポンティアック熱が知られています。レジオネラ肺炎は全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や38℃以上の高熱、悪寒、腹痛、呼吸困難が見られるようになります。中枢神経系の症状や下痢が見られるのもレジオネラ肺炎の特徴とされています。有効な抗菌薬治療がなされないと死に至る場合もあります。一方、ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状が見られます。

レジオネラ症は、早期に診断して適切な治療を開始することが重要です。**医療機関においては、尿中抗原キットを用いた迅速診断を行い、早期に適切な抗菌薬(キノロン系薬、マクロライド系薬)を用いた治療を行うことが求められます。**

《全数報告の感染症》

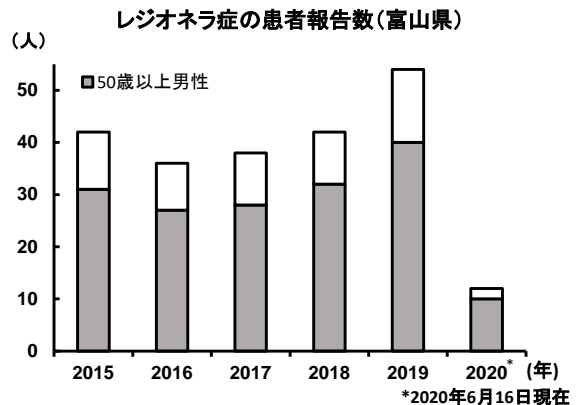
- 二類感染症 結核 5件 (①第22週診断分: 80歳代、男性 ②第23週診断分: 20歳代、女性 ③第23週診断分: 80歳代、男性 ④⑤ともに80歳代、男性)
- 五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (80歳代、女性)
- 破傷風 1件 (第23週診断分: 80歳代、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.10 (→)	2.10
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59 (↑)	0.55
3位	突発性発しん	0.45 (↑)	0.28
4位	マイコプラズマ肺炎	0.40 (↑)	0.00
5位	無菌性髄膜炎	0.20 (↑)	0.00
6位	咽頭結膜熱	0.14 (↑)	0.07

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

令和2年6月17日
富山県感染症情報センター
(0766-56-5431 直通)
(0766-56-8142 細菌部)
(0766-56-8143 ウイルス部)



○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第24週 令和2年6月8日～令和2年6月14日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症							5	5	17	7	193	227
二類感染症	結核			1		1	2	6	2	19	4	18	49
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									3		4	7
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							8				1	9
	デング熱											1	1
	レジオネラ症							1		5	1	5	12
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	後天性免疫不全症候群											1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症			1			1	1		2		3	6
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		2		10	14
	破傷風											2	2
	百日咳										24	2	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	890	567	1,190
RSウイルス感染症						1	1	2	5	26	4	36	73
咽頭結膜熱		2	1	1			4	57	56	90	8	71	282
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.50	0.33	0.13			0.14	94	161	1,016	161	1,230	2,662
感染性胃腸炎		17	11	12	2	19	61	625	355	459	233	1,347	3,019
水痘		4.25	3.67	1.50	0.50	1.90	2.10	29	29	47	16	88	209
手足口病		1				1	2	18	1	13	4	40	76
伝染性紅斑		0.25				0.10	0.07	9	26	28		156	219
突発性発しん		3		5	4	3	13	15	13	85	32	58	203
ヘルパンギーナ		0.75		0.63	1.00	0.30	0.45	33		8	1	3	45
流行性耳下腺炎						1	1		3	3	4	7	17
流行性角結膜炎									5	7	2		14
細菌性髄膜炎										1			1
無菌性髄膜炎						1	1				1	5	6
マイコプラズマ肺炎			1	1			2	1	5	16	16	9	47
感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1.00	1.00			0.40			2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	73	53	201

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年5月分）

		5月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症			5		2	7	1	1	12		20	34
				1.67		0.50	0.70						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1	1	3	6		3	1	4	14	22
			1.00	0.33	1.00	0.75	0.60						
	尖圭コンジローマ									1		3	4
	淋菌感染症			1		1	2			3		9	12
				0.33		0.25	0.20						
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1	5		3	10	9	5	13	5	12	44
		1.00	1.00	5.00		3.00	2.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症			1			1	1		5			6
				1.00			0.20						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。